

「八街のいいね!を語ろう会」×「八街市区長会勉強会」



第3回「八街のいいね!を語ろう会」を、令和7年9月20日（土）に八街市総合保健福祉センター3階大会議室で開催しました。

区長や区長代理者、協働のまちづくりに興味のある市民も含めて、38名の方が参加しました。今回は区長会勉強会も兼ねて開催し、充実した時間となりました。

今回の内容は、「若い世代の地域参加」と「居場所づくり」についての事例発表をお聞きした後、グループに分かれて想いを語り合いました。

参加者からは、「新しい話が聞けた」、「頑張っている方がたくさんいてうれしかった」、「できるできないを考えないで、あったらいいねの対策を考えたい」、「発表団体の自発的な活動に感心しました」などの前向きな感想をいただきました。

今号では、当日事例発表していただいた内容をご紹介します。

どうしたら若い世代に地域に目を向けてもらえるか、どんな居場所があったらよいかを皆さんも考えてみませんか？

事例発表

- ろくくサマーフェスティバル実行委員会
昔の夏祭りのリバイバル（六区）
- 子ども文庫えんどうまめ
小学生が自由に通える居場所づくり（泉台区）
- おしゃべりの会
身近な高齢者の居場所（みどり台区）
- 山田台夏祭り実行委委員会
地元に根付いた夏祭り（山田台区）



「第3回八街のいいね!を語ろう会」の詳細は、こちら ➡



ろっくサマーフェスティバル

ろっくサマーフェスティバルの始まり

平成29年、小学校の同級生4人が集まったときに「夏祭りがなくなり、子どもの頃の夏祭りが楽しかったよね。今の子どもたちにも体験させてあげたい!」という話題で盛り上がり、想いを区長に相談したら「若い君たちが頑張るなら私も協力しよう」と後押しをしてくれました。

令和元年に実行委員会を立ち上げた時には、PTA、消防団、実住・笹引婦人会、地区社協、更生保護女性会、六区カラオケ会、六区寿会、友人知人など、区内の多くの方に委員会参加の声かけをしました。

無事に第1回実行委員会を実施でき、資金面のことも順調に進みました。開催名称については議論を重ねました。笹引地区、実住地区や北四木地区には、六区に所属しない自治会が多数あるので、『六区』の名前を入れずに、だれでも参加できるイメージからひらがなで『ろっく』と決めました。

第1回ろっくサマーフェスティバルを開催!

会場は「千葉みらい農業協同組合グリーンやちまた」に決まり、神社や集落センターなど近隣施設に駐車場

の協力をいただきました。実行委員会で出店内容を話し合い、地元の商店や自治会関係団体、PTAや婦人会などに協力をお願いしました。多くの出店ブースの関係団体は責任をもって運営いただきました。

ステージは地元の運送屋さんから無償で借りた4トウイングトラックで設営しました。みんなが楽しめるビンゴゲームやカラオケが行われ、大変盛り上がりました。

子どもたちは、焼きそば、唐揚げ、かき氷、たこやきを食べたり、射的、くじ引きをして楽しんでいました。たくさんの来場者で大盛況のフェスティバルとなりました。

コロナ禍を経て復活!

「ろっくサマーフェスティバル」は、コロナ禍で数年間中止を余儀なくされましたが、令和6年7月に4回目の開催ができ、思い出に残るイベントが復活しました。

こうした地域住民の協力のもとに開催する取り組みが、地域活性化の一翼を担う大切なイベントになっています。



子ども文庫えんどうまめ

劇場から居場所へ

子ども文庫えんどうまめは、約30年前に親子で舞台芸術を楽しむ親子劇場として活動をしていたメンバーの中の有志が、小学校の早帰りの木曜日に子どもたちの居場所を作ろうと、平成6年7月に立ち上げ、今年で31年目になります。団体名のえんどうまめは、アンデルセン童話「とびだした5つのエンドウ豆」から、文庫というサヤから飛び出す子どもをイメージした名前です。

子どもの居場所

活動は、毎週木曜日15時から17時、泉台区民センターで参加費無料で行っています。子どもたちは、読書や折り紙、工作、おもちゃ、トランプ、宿題など自由に過ごし、遊びたいときは、隣の公園へ行き、遊び終えたらまた戻ってきます。

子どもたちが使用する本や色鉛筆等は、地域の方々が寄付してくださったものです。絵本や児童書940冊の中には、伊藤忠商事から寄付された100冊もあります。

月に1回、季節ごとの工作とお話タイム（豆まき、ひな祭り、七夕、クリスマス）を行っています。

令和6年には、八街市立図書館から推薦され、「読書週間」において読書推進運動協議会より表彰されました。また、令和7年6月15日に発行された冊子「読書推進運動」NO. 691では「子ども文庫えんどうまめ」の活動内容が紹介されました。

スタッフの願い

スタッフは、危なくないように見ているだけで、子どもたちを自由に遊ばせるよう対応しています。子どもたちがたくさんの本に親しめる文化的な場所のひとつとなり、安心できる居場所になってほしいと願っています。



おしゃべりの会

おしゃべりの会のきっかけ

おしゃべりの会は、コロナ禍でめっきり外出が減ってしまった高齢者が、暑い時に涼しいところ、寒い時に暖かいところで、おしゃべりができる居場所として、みどり台コミュニティセンターを開放して始まりました。

令和5年6月から、月1回（最終月曜日）の活動として始まりました。スタッフはみどり台ボランティアグループのメンバー5人と民生委員2人の7人です。会議用テーブルを2つ合わせて、花を飾りおしゃべりができるスペースを作りました。当初、活動時間のほとんどがおしゃべりタイムで、他には簡単なゲームやみんなで合唱を行っていました。その後、さまざまな方からの協力があり、プログラムが豊富になってきました。

ルンルン体操の始まり

地域包括支援センターで講習を受けた介護予防リーダーの参加者から提案があり、月1回だったおしゃべりの日に加えて、体操の日を設けて月2回の活動になり、現在に至っています。

ある時は参加者が主役に

7月には、常連の参加者のひとりが得意な太鼓を叩き、みんなで盆踊りを踊ります。最終月曜日が第5週にあたる日は、電子ピアノの演奏で合唱をします。ある時は、参加者のひとりがたくさんの病気をどのように克服したかを面白おかしく語ったこともありました。

山田台夏祭り

夏祭り実行委員会の立ち上げ

これまで地元商店会が中心となっていた夏祭りがコロナ禍により中止となり、さらに商店会の解散に伴い、消えてしまいました。「神社の氏子総会有志」が山田台夏祭り実行委員会を立ち上げ、復活させようと動き始めました。実行委員会は、若い世代の参加を考えていました。同じ頃、夏祭りを復活したいと試行錯誤していた子育て世代の支援を行う「smile peace子供育成会」に声がかかり、令和4年に第1回山田台夏祭りが実施できるまでになりました。

山田台夏祭りのここが自慢

地元の方々の出店の提供価格が安いのが特長です。昔ながらの盆踊りもあり、小さい子どもたちも櫓の周りを踊ります。夏祭りの終盤のメインイベントは抽選会。受付で抽選番号の入ったうちわをもらい、たくさんの景品が用意された抽選会を楽しみに多くの人が集まります。キッズダンスやボランティア団体「若葉区和太鼓道大塚」の迫力ある太鼓は見応えがあります。

外部の方を迎えて

市国保年金課の声掛けで、体力測定を行いました。握力や歩行、バランスの測定結果の点数結果で盛り上がりました。また、北部地域包括支援センターの方が「だれでもカフェ」の紹介にいらっしゃいました。

「知っ得・納得やちまた出前講座」を活用して、郷土資料館学芸員から八街の歴史を学びました。

参加者の声

活動を始めてから4年目になります。参加者も少しずつ増え、一回でも参加したことのある参加者は50人ほどになりました。地域に住む隠れた特技をお持ちの方や市役所からのお声掛けなどがあり、活動内容も充実してきました。

最近は、「この会に参加するようになって、地域が身近なものに感じられる」というご意見をいただくようになりました。



smile peace子供育成会

地域の活性化や子育て世代の支援、子どもの居場所づくりを目的とした団体です。

令和4年に、子ども100円大人300円で、うどんやおむすび、お菓子、ジュース、お茶などを提供する満腹食堂の活動から始まりました。現在は、調理実習形式のカレーパーティ、ハロウィンパーティ、みんなでケーキを作って食べるクリスマスパーティなどの子ども食堂の活動のほか、クリスマスリースづくりなども行っています。

地道な活動を継続して、地域の皆さん、行政からも信頼される団体になることを目指しています。

若い世代が加わったことでできること

若い世代が加わることで、機動力が備わり、地域の活性化に繋がります。また、若い世代だけでは、分からない地元の歴史や人脈を学びながら、スムーズな世代交代が期待できます。

PiTの窓口受付時間の変更

- 令和8年1月5日(月)より、八街市役所の窓口受付時間の変更に伴い、PiTの窓口受付時間も変更となります。
協働のまちづくりPiT 窓口受付時間
月曜～金曜(土日祝除く) 9:00～16:30

「やちまた未来予想図」を皆さんと作りました

- 令和7年10月4日に開催された「ふくしフェスタ2025」の会場で、来場者の方に八街の未来予想をしていただきました。イベント当日の様子は市役所のHPに掲載しています。また、やちまた未来予想図の実物は、八街駅自由通路に掲示していますので、是非ご覧ください。

「第6回地域力向上スクール2限目」を開催しました

- 令和7年10月4日に、第6回地域力向上スクール2限目を開催しました。当日は、地域でまちづくり活動をしている方など17名が参加され、オンラインツールを使った広報力の向上や情報共有の効率化のノウハウを学びました。
- 今回は、「八街推し活クラブ」でまちづくり活動に取り組んでいる中学生も参加してくれました。

「第6回地域力向上スクール3限目」を開催します

担い手を増やし、持続可能な市民活動のために、人材募集、参加者募集、担い手募集のコツについて学びます。

日時:令和8年2月7日(土)13:30～16:00
場所:総合保健福祉センター4階 団体研修室
講師:認定NPO法人サービスグラント 上原 一紀氏



令和7年4月から9月までの来訪者数(相談件数:25件)

総数	人数/件数			内訳			
	来訪	電話	メール・郵便	一般	ボランティア/NPO法人	行政/議会関係	事業者(企業/商店)
175	78	48	49	49	97	21	8

協働のまちづくりPiTの相談窓口

- ご自身の想いを整理し、課題の解決へのお手伝いをします。
- 協働によるまちづくり活動や地域資源等に関するお問合せ・ご相談承ります。どんな小さなことでもお気軽にご相談ください。



協働コラム

- 協働のまちづくりコーディネーターが、自分たちの取材活動などを通じて、協働の取り組みについて感じたこと・考えていることをコラムで紹介しています。最新記事は、「キッズからシニアを夢中にする消しゴムはんこ」。記事一覧をご覧ください。



<PiTメルマガに登録しませんか?>

- 定期的(月1回)に、PiTの活動報告、八街で活動する団体の情報、行政関係や団体、企業などの助成金情報をお届けします。

協働のまちづくりPiT
メールアドレス

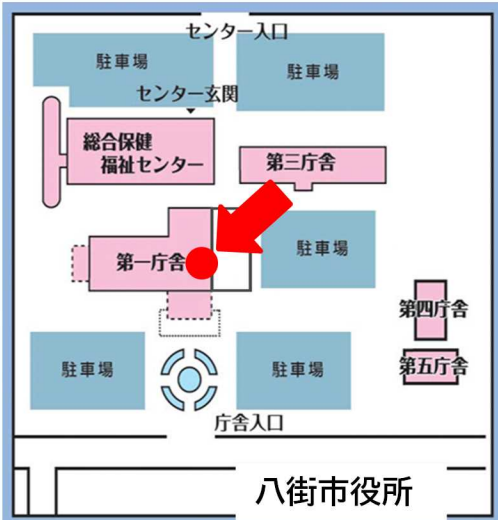


今回のニュースレターでお届けした地域活動は、区(自治会)といった地域のつながりという基盤があって成り立っています。せっかく縁あって同じ地域で暮らしている者同士、区(自治会)に入り、支え合って住みやすい環境を一緒に作りましょう!

区長会事務局(市民協働推進課内)
(☎ 043-312-1140)



協働のまちづくりPiT(ピット)



開場時間:月曜日～金曜日 9時～17時

〒289-1192 八街市八街35番地29
市民協働推進課 協働のまちづくりPiT(第1庁舎2階)
043-312-2012